

イノベーションで
加藤副学長が講演

高岡高で出前講座

県女性財団の出前講座は20日、高岡高で1年生238人が参加して開かれ、お茶の水女子大の加藤美砂子副学長が「イノベーションとは何だろうージェンダード・イノベーションの可能性ー」と題して講演した。

同大ジェンダード・イノベーション研究所副所長も務める加藤氏は、シートベルトの開発に男性の人形のみが使われている事例や、骨粗鬆症こしろうしょうが女性の病気というイメージが強いことなど、性差に基づく固定的な考え方について説明。「性差を補う研究や開発が新しい価値の創造、社会の変化を生む」と指摘した。



生徒に講演する加藤氏（左）

＝高岡高